



まちフォト

3/19 宇佐神宮「呉橋」特別公開&光の参道フェスタ 生まれ変わった呉橋、8年ぶりの開扉



3月19日(日)～21日(火)、^{ひわだ}檜皮葺き屋根の全面葺き替えと木部の改修工事の完成を記念して、宇佐神宮^{くれはし}呉橋が特別公開されました。呉橋は、10年に一度、天皇陛下のお遣いである勅使が渡られる格式高い橋で、神宮の西を流れる寄藻川に架かっています。参拝者は「新聞で知って、矢も楯もたまらず来ました。呉橋を渡れることは珍しいので思い出になりました」と話し、記念撮影をして思い出を残していました。19日の夕方は呉橋前で踊りや音楽演奏などのフェスタが催されました。



3/20 普照こども園の青ノリを使った給食 五感で楽しむ青ノリ給食

駅館川で採れた天然青ノリを使った給食が、普照こども園で提供されました。2月に園児たちが収穫を見学したことが縁で、長洲河川漁業協同組合が「地元でとれた青ノリを子どもたちに食べて喜んでもらえたら」と寄贈しました。鮮やかな緑色で、風味高い青ノリは、ふりかけとちくわの磯辺揚げで提供され、園児たちは「海みたいないいにおいがして、とてもおいしかった」とご満悦でした。

3/19 第31回いんない石橋マラソン大会 春風とともに院内路を走り抜けて

市内外から参加した532人が、平成令和の森スポーツ公園をスタートし石橋の郷^{さと}院内を駆け抜けました。距離ごとに分けられたマラソンのほか、ウォーキングもあり、参加者はそれぞれのペースで楽しんでいました。小学生コースでは身を乗り出して応援し、声援が飛び交っていました。ハーフマラソンでは、荒瀬橋や富士見橋を通りアップダウンの激しい道走る選手に地元の人が沿道から掛け声を送っていました。





4/2 辛島地区泉神社 春の大祭 地域の子どもでつなぐ浦安の舞

満開の桜の中、泉神社で春の大祭が開催されました。辛島地区子ども会の駅館小6年から駅川中2年までの12人が浦安の舞を演じました。子どもたちは、そろいの烏帽子をかぶり、狩衣やはかまの衣装を身につけ笛・太鼓・唄を演奏しました。雅楽に合わせて巫女が優雅に舞う姿に地元の人たちは魅了されていました。中学2年の木原明倫さんは「今まで練習してきたのが上手く行ってうれしい」と話していました。

3/21 ロボットうさみっと！ 想像して！ロボットとの未来生活

市民図書館で、聞いて見て触れて学ぶロボットうさみっと！が開催されました。戦争遺構を巡る360度VR体験、人型ロボットPepperと共演するロボット演劇、メカグルマを作る体験コーナー、人間とロボットの未来の暮らしって？と題してのトークショーなど盛りだくさんの内容に多くの親子連れが参加しました。春分の日、ロボットたちが集まる空間で体験を通じて未来の生活に思いをはせていました。



3/25 宇佐細見・清瀬保二の世界Ⅱ ふるさとを思うメロディ脈々と

市出身の作曲家・清瀬保二の足跡をたどる講演会と演奏会が宇佐文化会館で開催されました。講演会では孫の香下英一さんが、音楽に向き合う姿や話好きの一面など興味深い様子を話しました。演奏会では、保二が作曲した市や近隣市の小中高校10校の校歌をプロや来場者が伸びやかに歌い上げました。横山小卒業生と在校児童38人による校歌斉唱は、世代を超えて今も継承されている音楽の偉大さを感じさせました。



4/9 双葉の市 春場所～さくらまつり～ 春場所グルメにごつつあんです！

春の陽気の中、双葉の里で双葉の市とさくらまつりが初めて同時開催されました。フリーマーケットやキッチンカーの出店、双葉のよこづなドーナツの振る舞いがあり、多くの家族連れなどが訪れました。他にも地元まちづくり協議会によるちゃんこの販売が大人気で、お昼前には予定数を終了。来場者は「天気がよく、子どもが多くて癒される。ちゃんこがおいしい」と満足気でした。